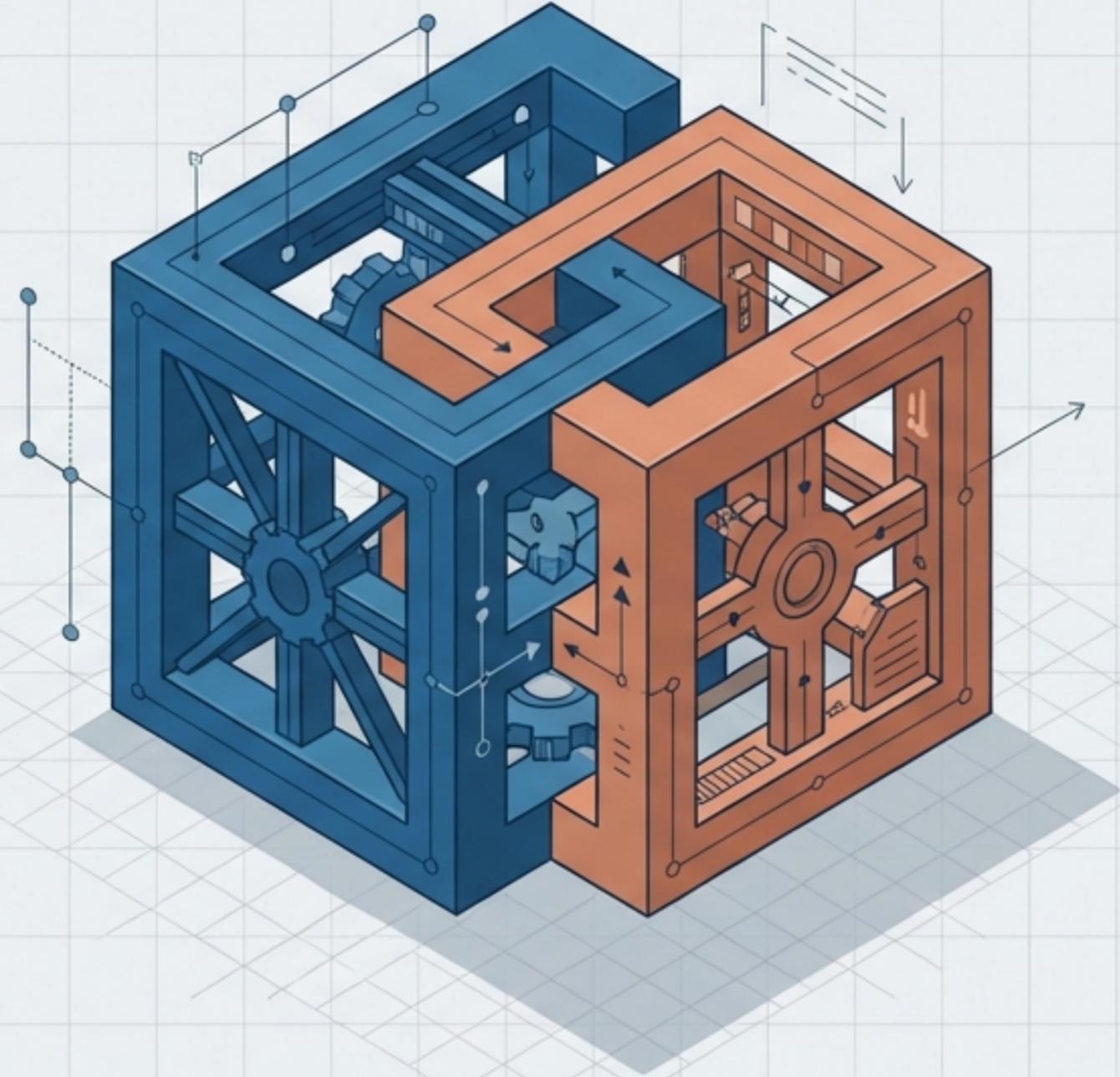


# 覇権の青写真： Microsoft「Microsoft Copilot Cowork」と Anthropic提携の全貌

チャットボットから自律型エージェントへの  
進化と、エンタープライズAI市場を支配する  
3つの戦略的布石



# エグゼクティブ・サマリー：ニュースの表層と戦略の深層

## Surface Level (ニュースの表層)

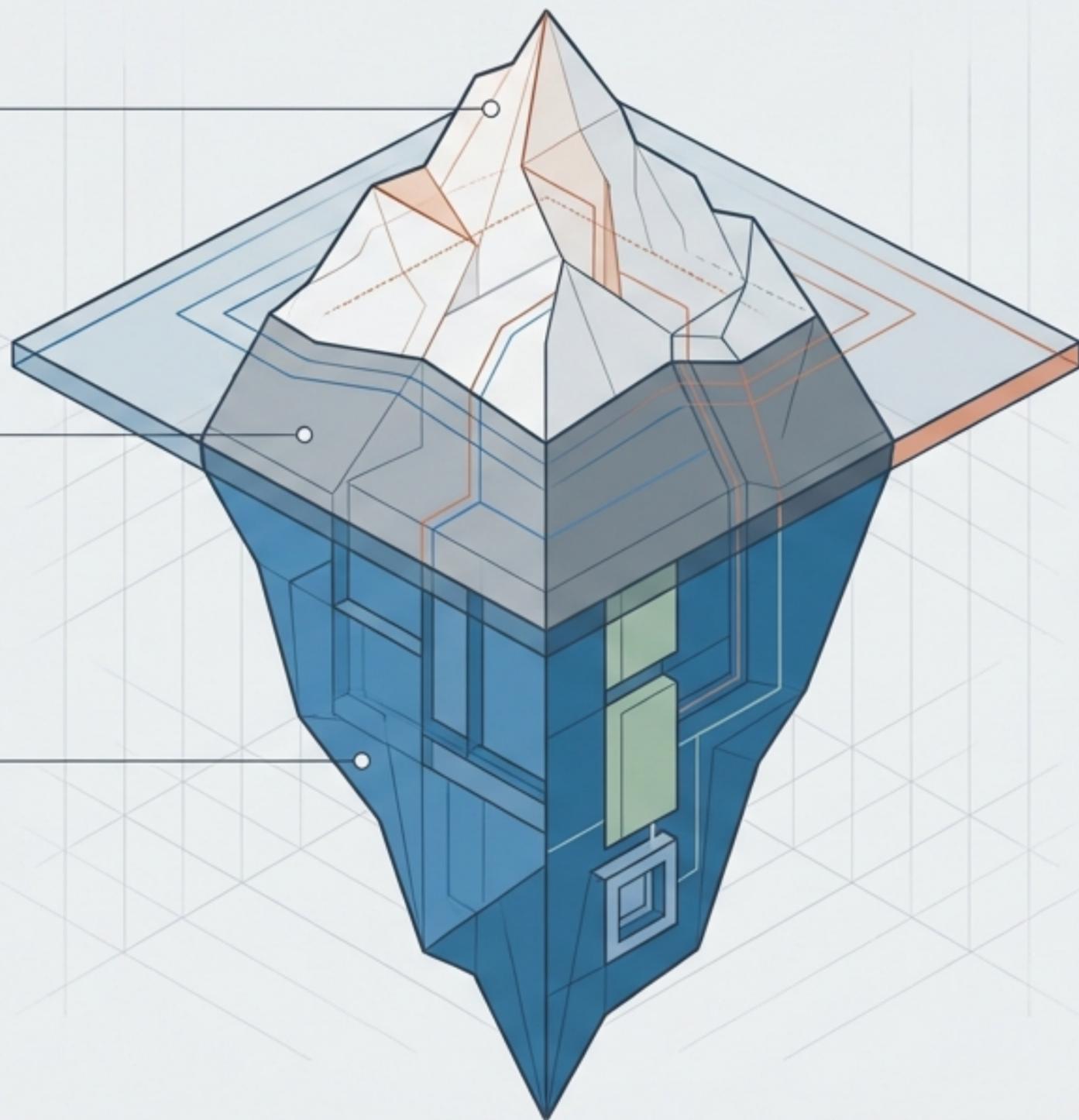
「Wave 3」の発表。Anthropicの技術を統合した自律型AI「Copilot Cowork」の実装。

## Shallow Water (パラダイムシフト)

AIの役割が「指示待ちのチャット」から「自律的にタスクをこなす同僚」へ変化。

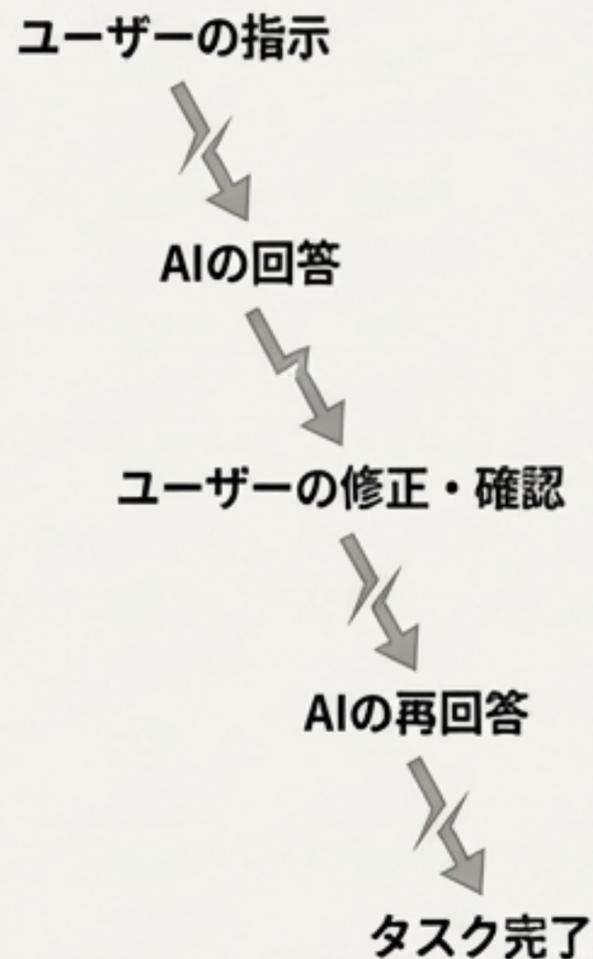
## Deep Water (真の戦略的意図)

1. マルチモデル戦略 (モデル依存からの脱却)
2. Agent 365 (IT部門によるガバナンス統制)
3. M365 E7 (AIとセキュリティの統合パッケージ化)



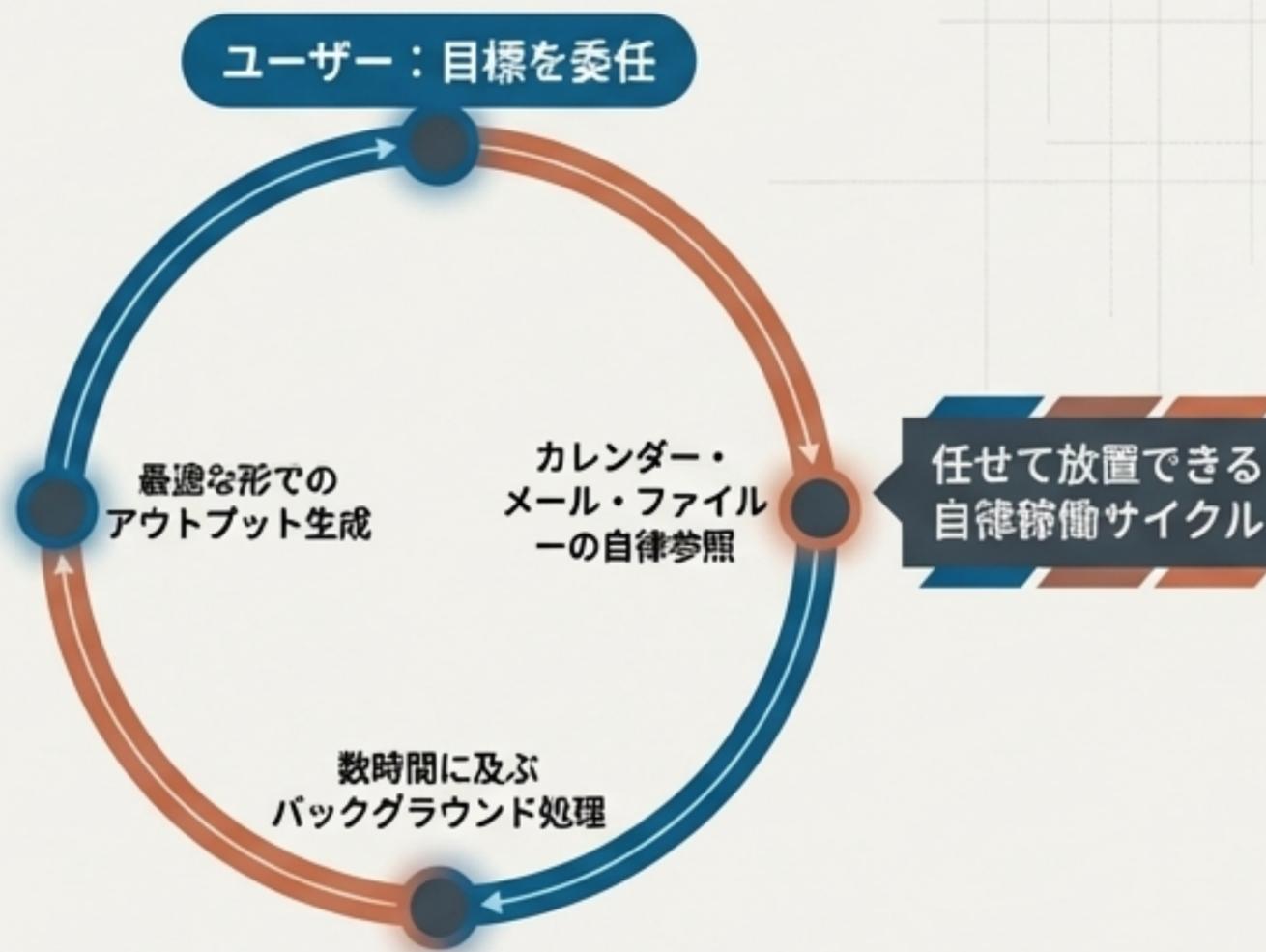
# パラダイムシフト：「指示と監視」から「委任と自律」へ

BEFORE: CHATBOT



常に監視と介入が必要なプロセス

AFTER: COWORKER



「チャットではすべてのステップを見守る必要があるが、Coworkなら『任せて放置する』感覚で業務を終わらせることができる」  
— Charles Lamanna (Microsoft プレジデント)

# Copilot Coworkの裏側：Work IQによる文脈理解とバックグラウンド処理

## 1. 意図の解釈

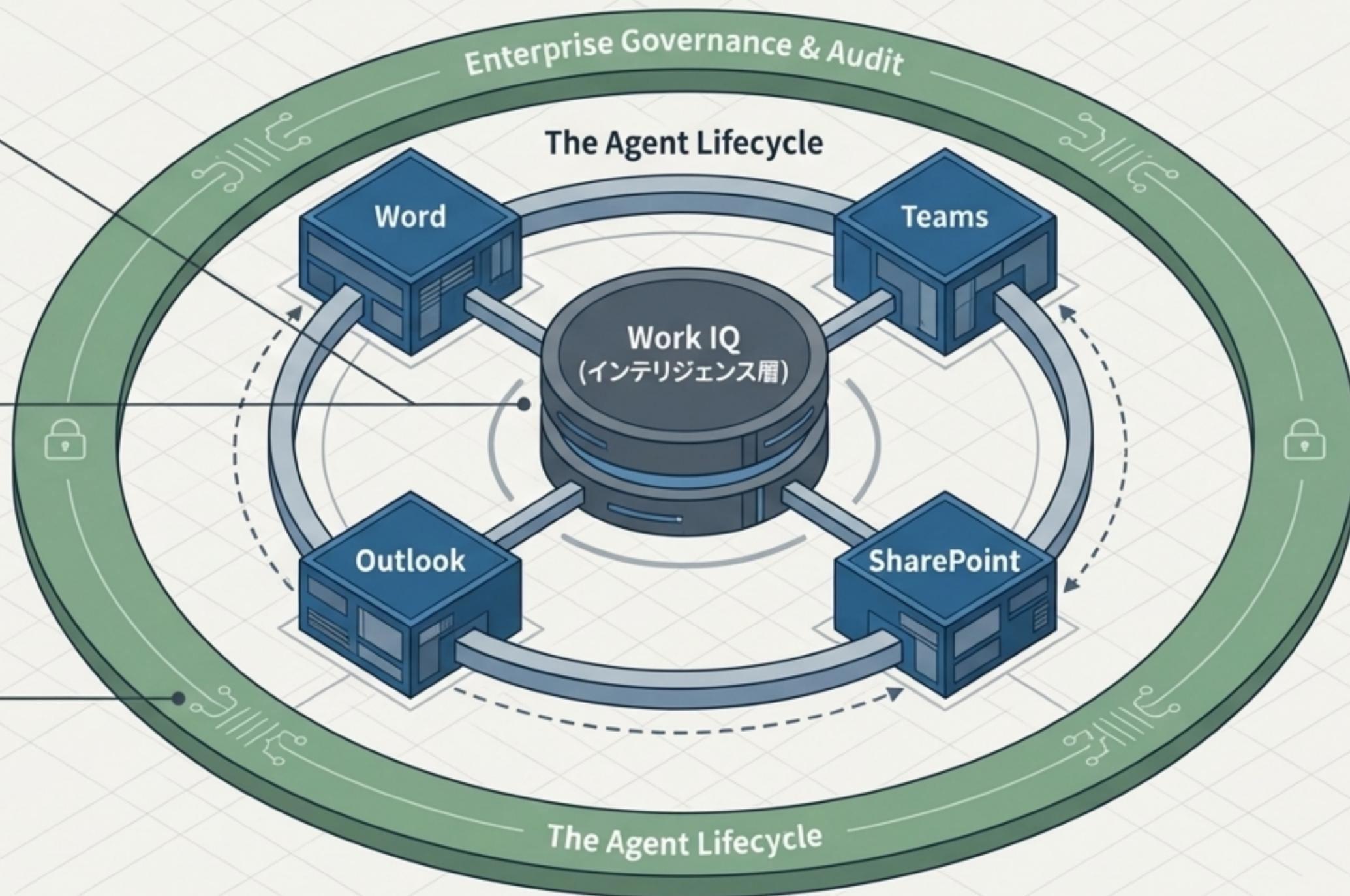
Work IQが組織内のデータグラフ（関係性・文脈）を解析。

## 2. 自律実行

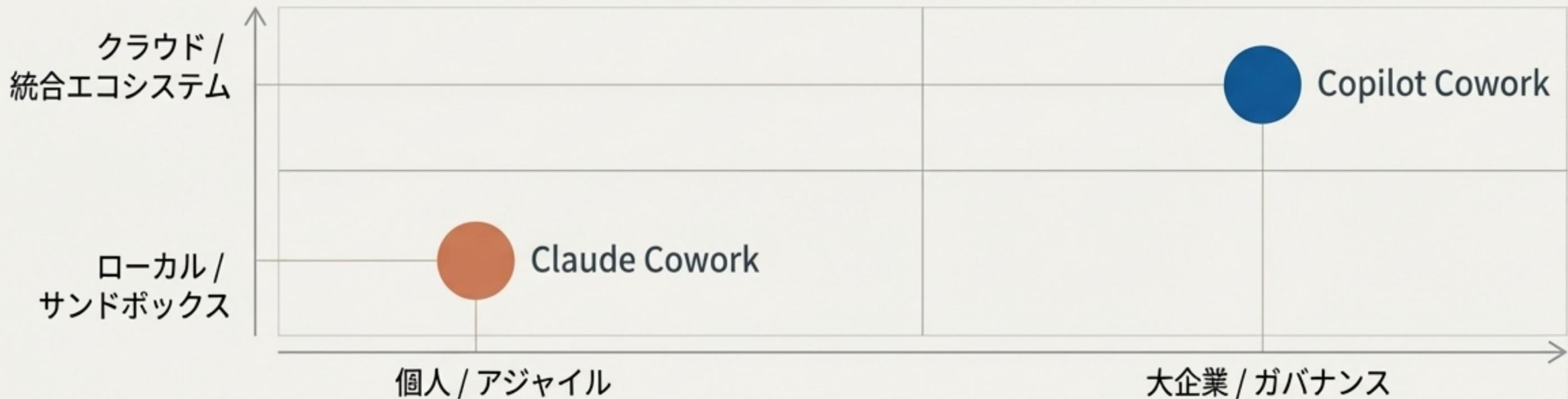
複数アプリを横断し、数分から数時間かけてクラウド上でバックグラウンド処理。

## 3. ガバナンス

Microsoft 365の既存セキュリティ枠内で動作し、全アクションの監査ログを記録。

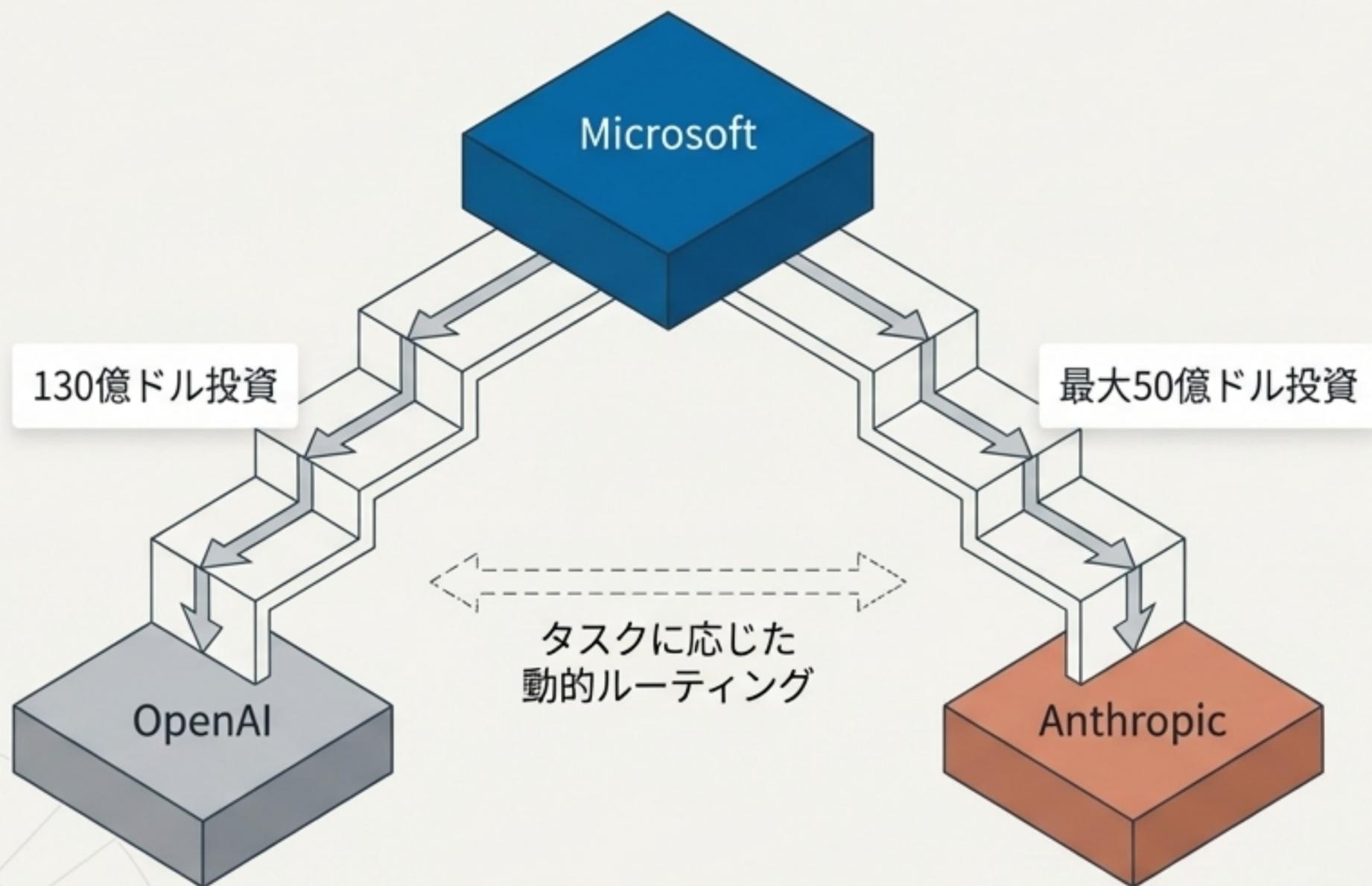


# 戦略的棲み分け：Claude Cowork vs Copilot Cowork



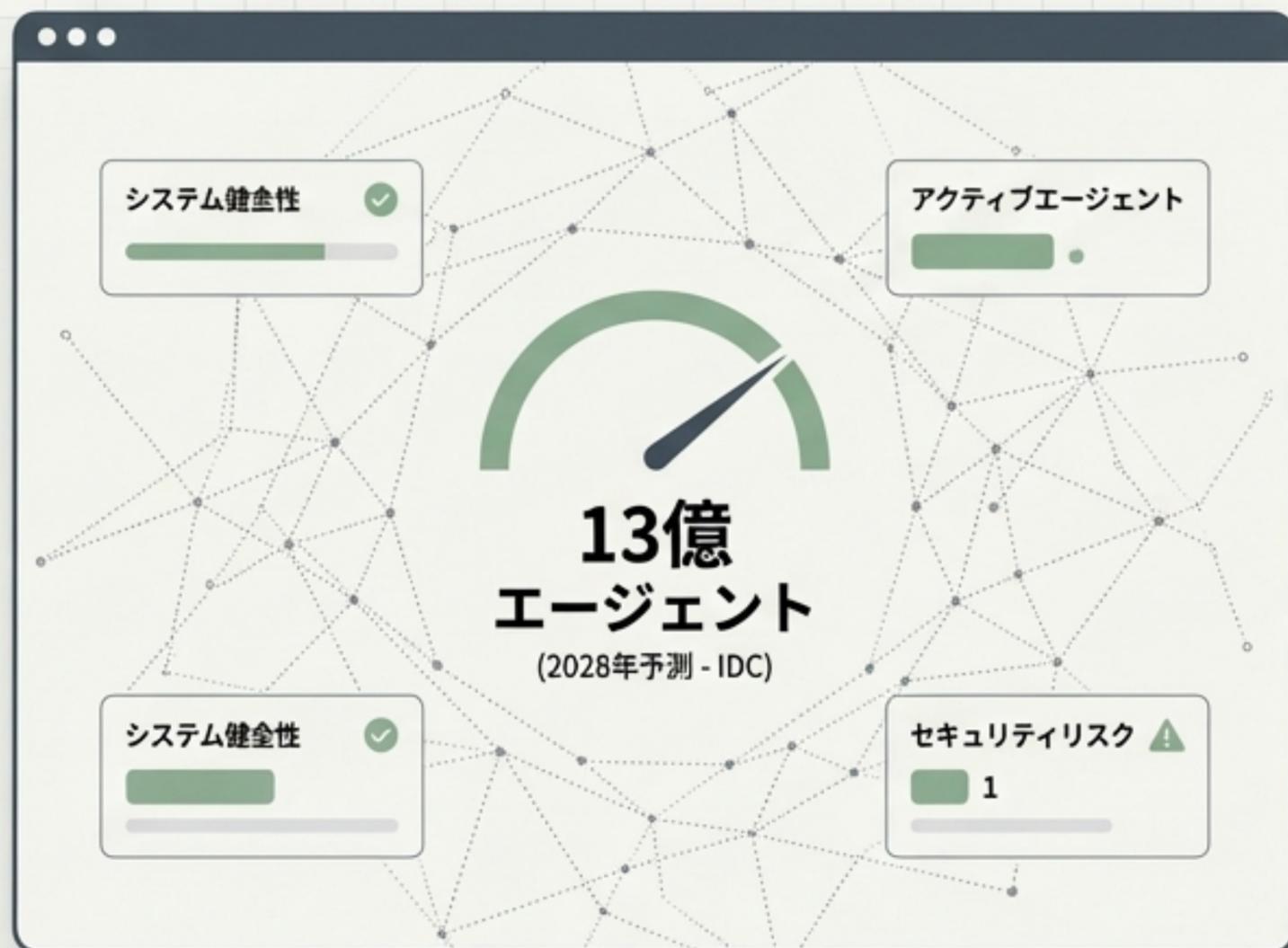
比較項目	Claude Cowork (Anthropic)	Copilot Cowork (Microsoft)
ターゲット	個人、異種ツールを使う組織	大企業、M365依存組織
データアクセス	ユーザーが許可したローカルフォルダ	M365全体のデータグラフ (メール、カレンダー等)
セキュリティ	フォルダ単位のサンドボックス	統合されたエンタープライズガバナンス
価格	\$20/月 (Claude Pro)	M365 Copilotライセンス必須 (\$30/月)

# 戦略シフト 1：マルチモデルによる「モデル依存」からの脱却



- 特定のAIモデルへのロックインを回避し、リスクを分散。
- 単一モデルに頼らず、「タスクに最適なモデルを自動で選択」する強固なアーキテクチャへの移行。
- モデルの多様性を単なるヘッジ(保険)ではなく、「競争上の優位性」として再定義 (VentureBeat分析)。

## 戦略シフト 2: 「エージェントの氾濫」を統制する管制塔『Agent 365』



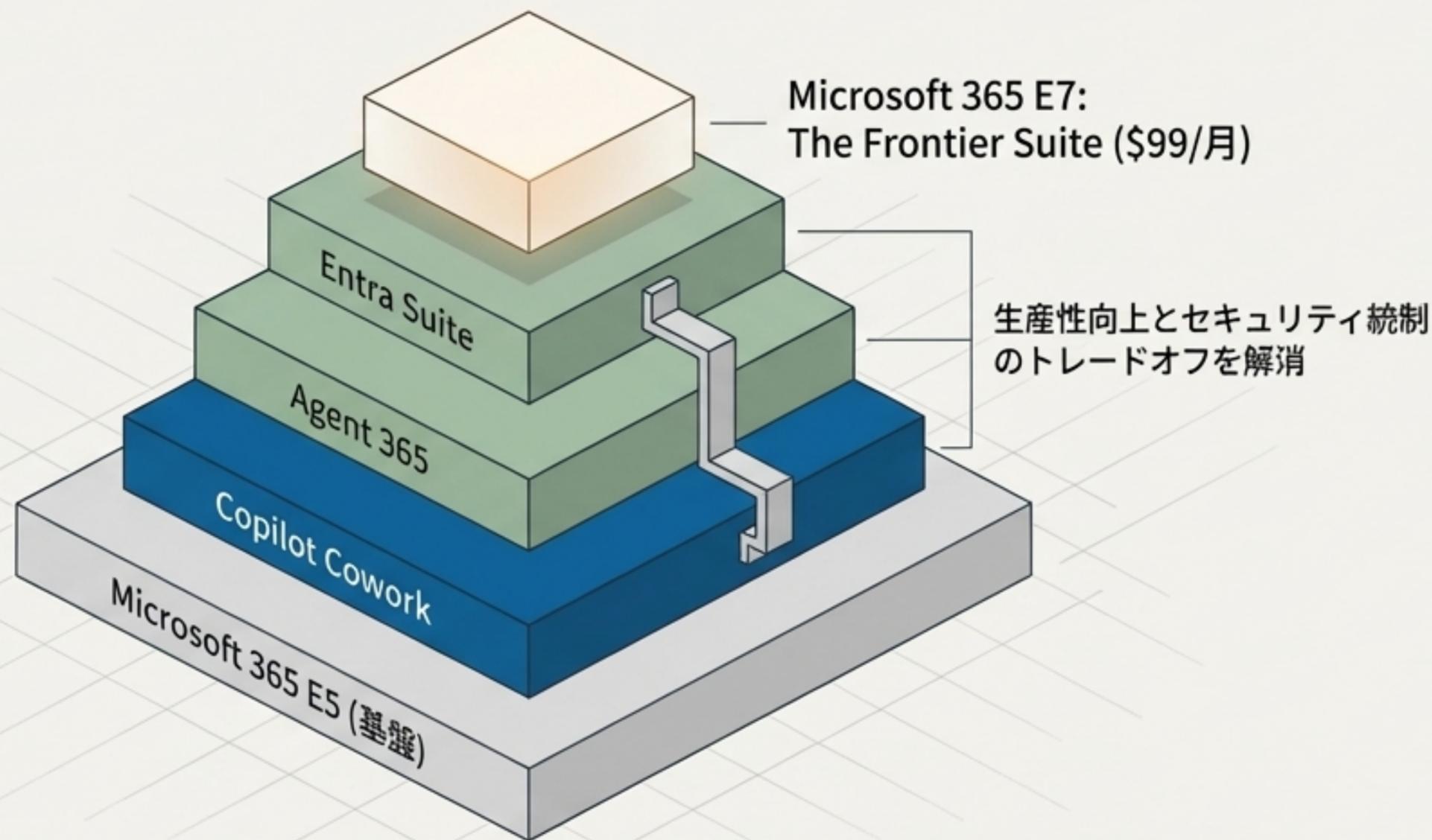
### The Threat: 野良エージェントの危機

2028年までに企業内で13億ものAIエージェントが稼働。IT部門の監視が届かない無管理なエージェントが、重大なセキュリティリスクを引き起こす。

### The Solution: 統合コントロールプレーン

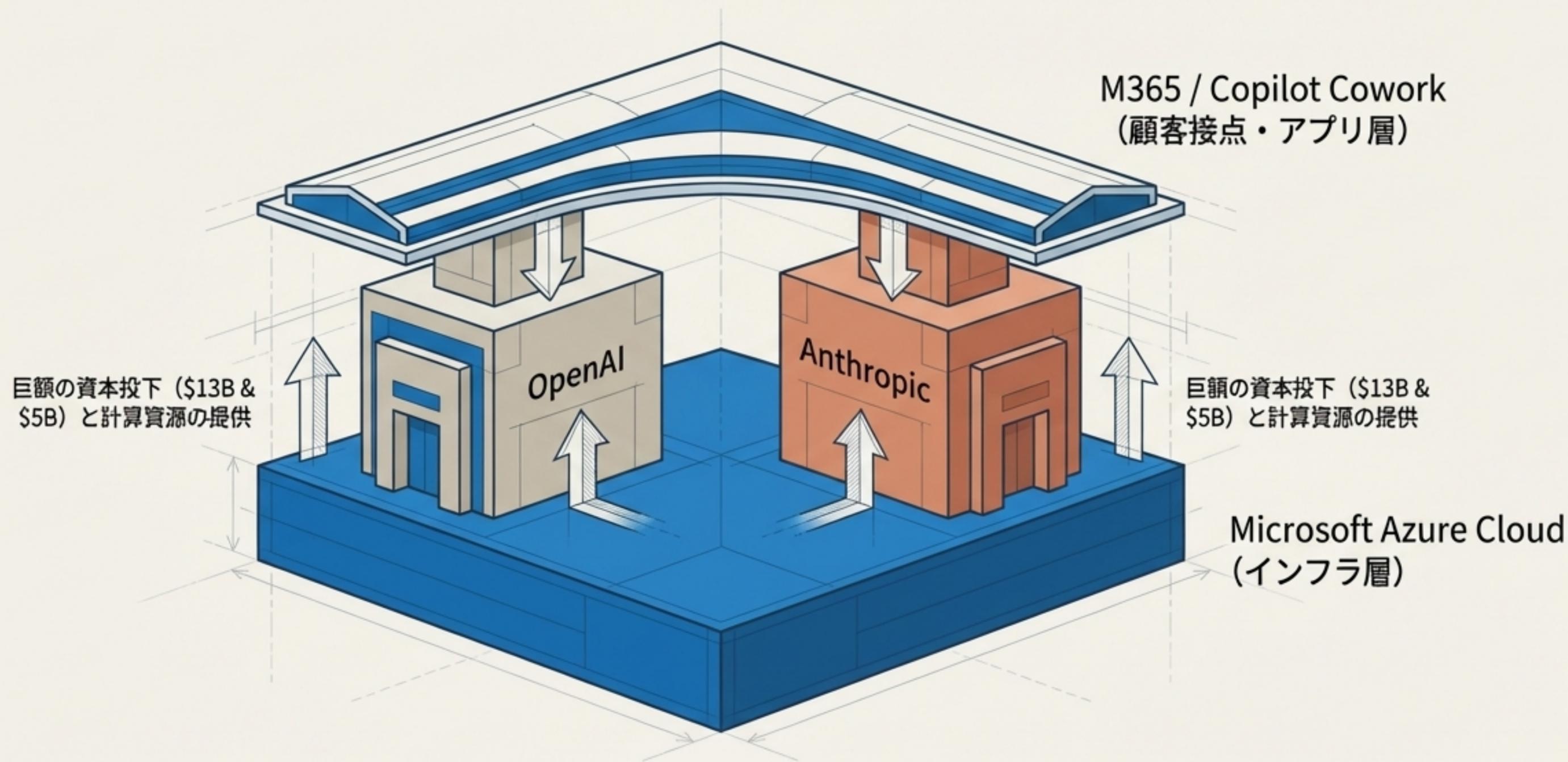
組織内の全AIを単一ダッシュボードで監視・保護・統制するIT部門のための管制塔「Agent 365」。  
(2026年5月提供開始 / 月額\$15)

# 戦略シフト 3：AI時代の全部入り要塞 『Microsoft 365 E7』



Key Insight: 生産性向上 (Cowork) と、それに伴う新たなセキュリティリスクの管理 (Agent 365)。このトレードオフを「月額99ドルのワンストップ・パッケージ」として包括的に提供し、エンタープライズのIT予算を総取りする野心的な一手。

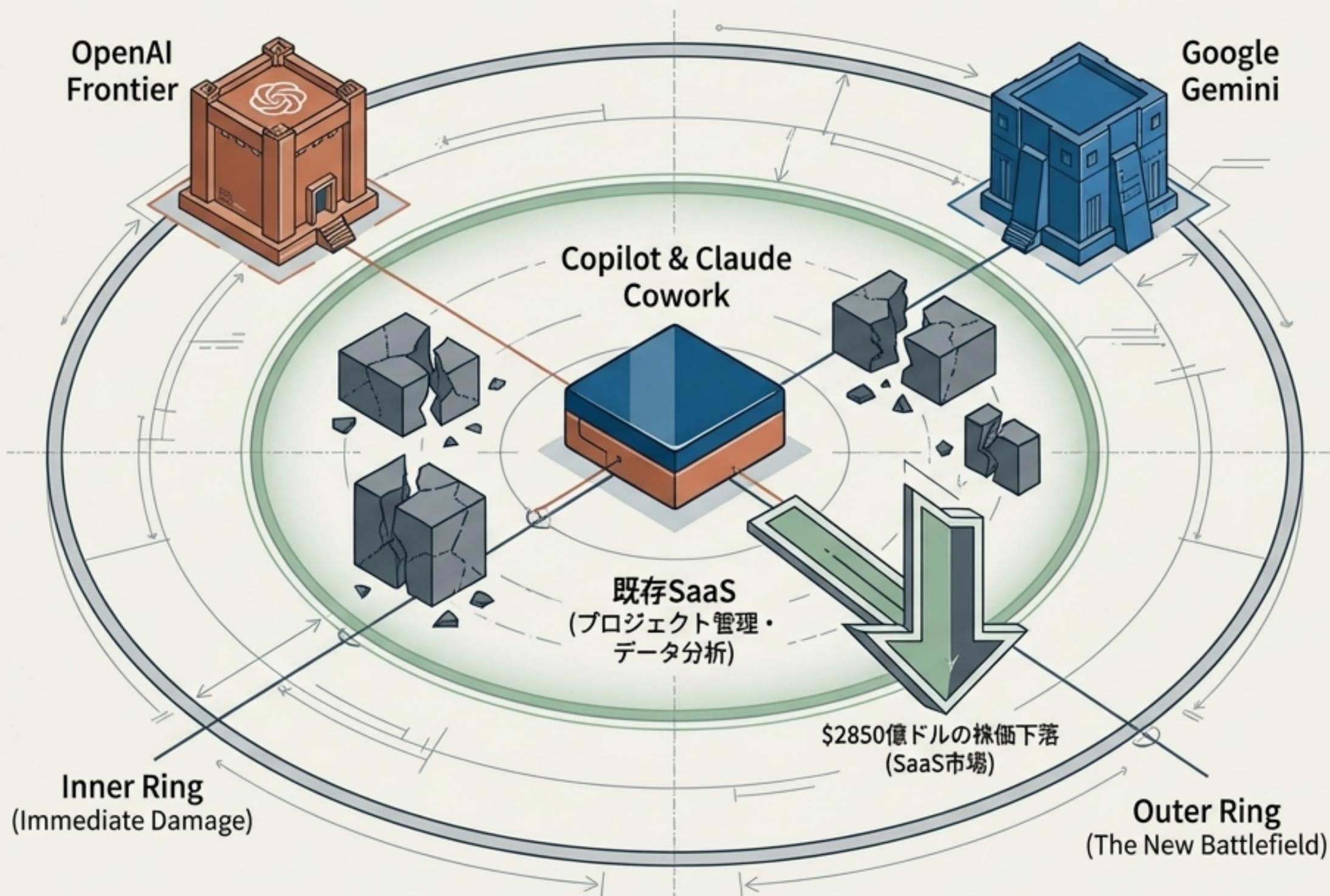
# 奇妙な三角関係：競争を俯瞰し、インフラで勝つ



AnthropicとOpenAIに競争させながら、両方の開発基盤として「Azure」を不可欠な存在にする。

モデルの覇権争いから一歩引き、インフラとエンタープライズ・アプリのレイヤーで確固たるプラットフォーム支配を確立。

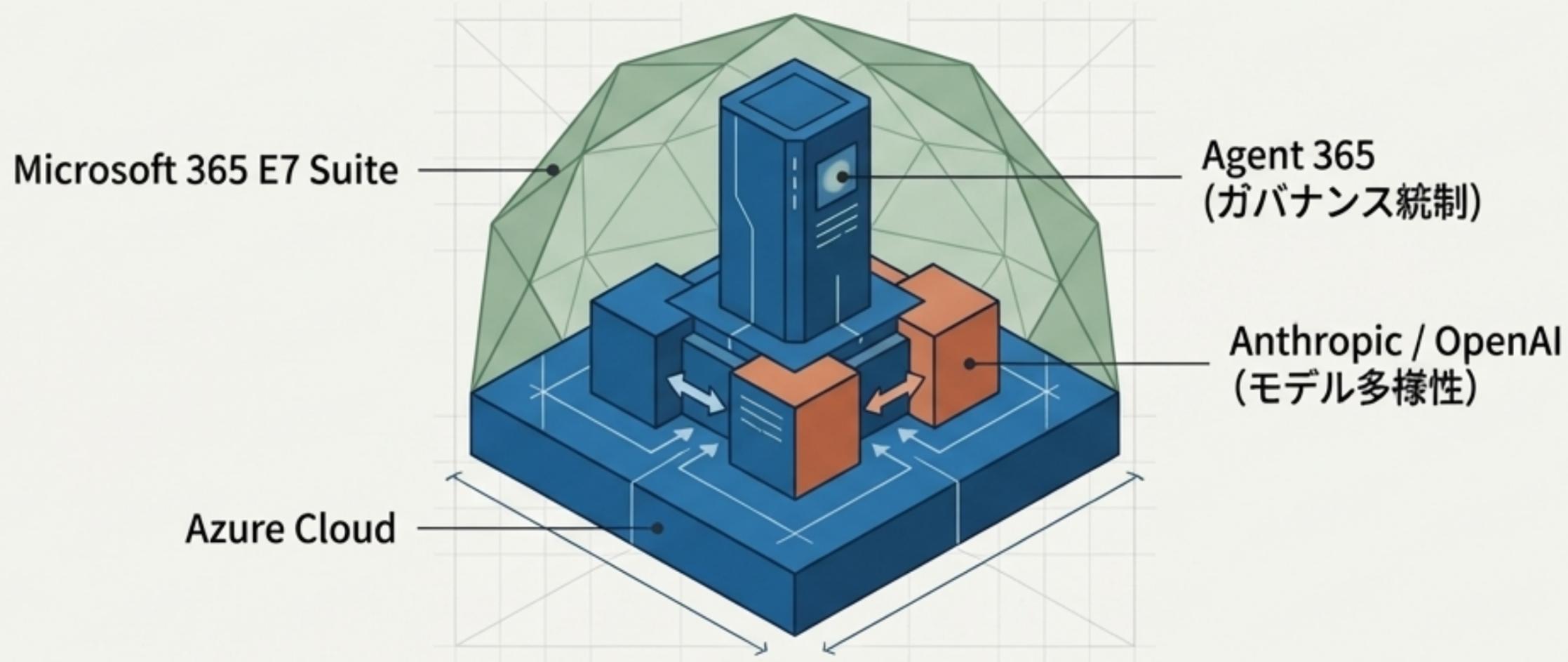
# 市場への破壊的インパクトと、次なる主戦場



## Impact Analysis:

- 既存SaaSが提供していた「特定業務の自動化」は、自律型汎用エージェントに代替される危機に直面。
- 今後は、Microsoft、OpenAI (Frontier)、Google (Gemini) の巨人たちによる「エンタープライズ・プラットフォーム覇権争い」へと市場のルールが激変する。

# 結論：Microsoftが構築した「次世代AIの要塞」



## 1. エンタープライズ市場の死守

M365の圧倒的顧客基盤とWork IQによるデータ独占。

## 2. リスク分散と優位性

複数モデルの適材適所による最先端機能の常時提供。

## 3. エコシステム支配

自社をプラットフォーム化し、Azure経済圏を拡大。

指示を待つAIの時代は終わった。真の「デジタルの同僚」との協働は、2026年3月末のFrontierプログラムから幕を開ける。